新文化

株式会社新文化通信社
郵便番号101
東京都千代田区神田駿河台1の2 共栄会館内
電話代表(294)3595番
振替東京 56511番
発行人 丸島日出夫
本紙購読料金 1ヶ月……1,500円(毎週木曜日発行)
本紙のご記事は他紙の使用、転載にご承諾ください。6ヶ月間無断で掲載しています

書籍・雑誌大取次
東京出版販売株式会社
本社 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
電話代表(03)261-7151番
営業所 福岡・大阪・札幌・広島

8割が他社ものの文庫も

〝防衛〟創刊がいずれは〝侵害〟生む構造

九月の「光文社文庫」創刊、そして今秋、文庫出版に参入する三新書群、さらに「ニ、三社の文庫計画がラインナップされている」(取次)。位置、華々しい文庫ラッシュ。

そして今秋、文庫出版に参入する三新書群、さらに「ニ、三社の文庫計画がラインナップされている」(取次)。位置、華々しい文庫ラッシュ。

そして同様出版社が続々と「文庫化」を開いたという。

今回の文庫ラッシュは、七一年の「講談社文庫」発刊以来、「中公文庫」(七三年)、「徳間文庫」(七七年)、「角川文庫」(八〇年)、「集英社文庫」(八〇年)、「文春文庫」(八〇年)と、八〇年で一段落していた大手出版社による文庫参入に次いで再び動きがついた形だ。

八〇年以降、二、三年に間を置いて、一年の「講談社文庫」発刊以来、「中公文庫」(七三年)、「徳間文庫」(七七年)、「角川文庫」(八〇年)、「集英社文庫」(八〇年)、「文春文庫」(八〇年)と、八〇年で一段落していた大手出版社による文庫参入に次いで再び動きがついた形だ。

八〇年以降、二、三年に間を置いて、一年の「講談社文庫」発刊以来、「中公文庫」(七三年)、「徳間文庫」(七七年)、「角川文庫」(八〇年)、「集英社文庫」(八〇年)、「文春文庫」(八〇年)と、八〇年で一段落していた大手出版社による文庫参入に次いで再び動きがついた形だ。

今回の文庫ラッシュは、七